

## 特 集 左京図書館の「今」

皆さんにとって、「いつもの」左京図書館とはどんなイメージですか？よく行く時間や利用方法によって、見え方は違うかもしれません。左京図書館を、内から外から、見渡してみましょう。

☆7月11日からの1週間のうち3日間、けやき事務局メンバー4名が手分けして館内の様子取材しました。図書館の仕事については、左京図書館にお聞きしてみました。

## 左京図書館の一日

梅雨がまだ明けきらない平日のある一日、左京図書館の様子をのぞいてみました。

## 開 館 前

朝礼から一日がスタート。まず、返却ポストに入っている資料を返却処理し、在架リスト（前日に予約入力された資料のリスト）にあがった資料を本棚からピックアップして、受取館宛の袋へ。新聞の受け入れ作業を済ませ、準備完了。

職員さんの様子



利用者さんの様子



開館前から8名の来館者が、1列に並んで扉が開くのを待つ。顔見知りの人も多く、挨拶が交わされる。休館日明けの水曜日や土日は、より多くの人が並ぶ。

午前 9時半 開館



館長さんの「お待たせしました。おはようございます」の挨拶を聞きながら入館。ほとんどの人が新聞・雑誌を手に取り、奥の閲覧コーナーやソファへ。

カウンター業務（貸出・返却、図書館カードの発行、予約受付、レファレンス※1）は3名程度が担当。45分交替。京都市図書館間を巡回するトラックが到着し、ブックメールの処理を行う（※2）。



午前中



来館者が途切れることはなく、本を選んだり、新聞を読んだり。絵本コーナーには赤ちゃんとお母さんの姿も。

事務所では雑誌の受け入れ（平日はほぼ毎日）や新着図書の受け入れ（週1回）の作業。ブックメールで届いた予約資料の電話連絡や督促の電話なども。



正午ごろ



館内は人が少なく、カウンターに来る人もまばら。小さな子どもの姿もなく、新聞を開く音だけが聞こえる。奥の閲覧コーナーもゆったりと使え、調べ物をする人も。

カウンター業務の合間に、本の修理などを行う。



午後1時ごろ

ブックメールのトラック、本日2回目の便が到着。午後は行事の準備や、選書会議（週1回）なども。（※3）



午後3時ごろ



来館者が増え始める。子どもの姿もちらほら。貸出返却カウンターは人が途切れず、図書館員さんの「こんにちは」「ありがとうございます」の声が気持ちよく響く。レファレンスコーナーでは、「シリーズ予約」について説明を受けている人、探している資料について聞いている人など。

午後6時ごろ



親子連れが3、4組来館。ゆっくりと本を選ぶ。奥の閲覧コーナーを利用する人はなく、ソファにゆっくり腰かけて、読書を楽しむ姿がみられる。

閉館 15分前



「アニー・ローリー」のメロディにのせて閉館のアナウンス。館内には大人ばかり10名ほど。三々五々帰り支度をして退館。

午後7時 閉館

閉館後

扉付近の案内板などを中へ。取り置き期限が切れた予約本を処理。本日分の新聞を片付け、書架整理をして、業務終了。



※1 レファレンス：利用者からの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探す手伝いをする。

※2 ブックメール：予約された資料を受取館へ届けたり、返却された資料を所蔵館へ戻したりするために、京都市図書館全館をトラックが巡回するシステム。開館日は毎日2回運行する。左京図書館では、1日平均800冊程度の資料が届く。

※3 選書会議：週1回、1時間45分ほど。その週の図書館向け新刊リストを職員が各自事前に確認し、左京図書館で購入する資料を選ぶ。リクエストが入っている本があればチェックする。



## 左京図書館の新しい試み

コロナ禍、制限されてきた催しが再開され、新たな企画もスタートするなど、図書館行事は賑やかになってきました。左京図書館の新しい取り組みのひとつである読書会にお邪魔しました。

### なつやすみ こども読書会

7月28日、日曜日の午後、左京図書館上階の会議室で「なつやすみ こども読書会」が行われました。小学生7名がニックネームを書いた名札をさげて、テーブルを囲んで向かい合い、それを保護者や兄弟が見守ります。

進行役の司書さんの挨拶のあと、「誰かトップバッターをしますか？」の呼びかけに、ぱっと手が上がります。発表者はまず書名を言って、持ってきた本を見せながら、あらすじを説明。司書さんが「どこでその本と出合ったの？」「どんな場面が面白かった？」と質問をして、本の魅力を掘り下げます。

子どもたちが持ち寄った本はさまざまですが、皆が読んだことのある絵本の紹介のときには、「あ〜！」と参加者それぞれがその本を読んだときのことを思い出しているような場面もありました。

びっしり紙に書いた原稿を読み上げる人、参加者や司書さんとやり取りしながら、その本の魅力を説明していく人、発表内容を暗記して本を手に話す人、それぞれのスタイルで自分の好きな本について語りました。

参加者の募集にあたっては、左京図書館内での告知だけでなく、近隣の小学校に案内を出したり、岩倉図書館と北図書館にポスターを掲示したりされました。その結果、左京区だけでなく、近隣の区からの参加もありました。

この「左京図書館読書会」は、昨年11月に第1回、今年

2月に第2回があり、3回目の今回は夏休みということで、参加者を小学生に限って実施されました。恒例行事として定着することが期待されます。

この読書会以外では、図書館隣接の高野児童館で、月1回乳幼児向けのおはなし会を開催、これも新しい試みです。また、7月下旬には養徳小学校の2年生2クラスが図書館見学で来館。小学校からの図書館見学はしばらくなかったもの。図書館からの呼びかけに応じる形で、見学が実現したそうです。子どもたちが図書館を身近に感じる機会が増えることは、嬉しいことです。

## これからの左京図書館

けっして大きくはない左京図書館ですが、京都市図書館20館（うち中央館4館）のなかで、入館者数は7番目に多く、貸出冊数は3番目に多い、活気ある図書館です（詳しくは5ページ図書館交流会報告参照）。たくさんの資料が貸し出されており、需要は高い。その割に、入館者数が少ないのは、スペースが狭いからでは？と考えていましたが、平日の図書館では、ゆっくり過ごす人の姿が多くみられました。資料だけでなく、静かに過ごす場所を提供することも、図書館の大事な役割。給水機や赤ちゃんのおむつ替えスペースがあること、車いすやベビーカーの入りやすさなど、本には直接関係ないことも、居心地の良さには不可欠です。地域住民の知の核として、誰もが気軽に利用できる居場所として、そして交流の場として、左京図書館が十分に役割を果たせるよう、見守っていきたいです。

（まとめ 澤田）

## けやきの本棚

No.72

### ペンギンサーカスだん

齊藤洋作 高島純絵 講談社 1996年  
ぼくは、ペンギンサーカスだんが気に入っています。ペンギンたちが、えんやらどっこいと言いながら、歩いてきます。全員

で五十羽います。だん長がムチをふり上げたら、のこりのペンギンたちが、かめを上ほうりなげて、パンダをくすぐる所が面白かったです。パンダも、かめも、楽しんでいました。ぼくは読んでいるだけでくすぐったくなりました。ほかのペンギンシリーズも、ふしぎで、面白いのでぜひ読んでみてください。

（小3 奏太）



## REPORT えほんのひろば in きょうと

2024年4月21日

4月21日午後、雨模様の天気の子のせい、会場へ行くと「人がたくさんいる」という印象。熱心に絵本を読む子ども、笑顔で指差ししながら絵本を眺める親子、工作コーナーで折り紙を子どもよりも楽しむ大人など、とても賑わっている様子でした。

今年度もけやきおすすめ絵本の他に、絵本学習会のメンバーが選んだ教科書に載っている絵本や、司書さんおすすめの本を展示しました。また、工作コーナーでは折り紙のカエルを作れるなど盛りだくさんです。

おはなし会もあり、午前中は『赤ちゃんと絵本を楽しむ会』、午後は『幼児と小学生のためのおはなし会』を開催しました。

午後のおはなし会は、科学絵本の読み聞かせを中心にしたプログラムで春を感じられるものでした。まずは『さくららら』『ぼくダンゴムシ』『タンポポ』をじっくりと読みます。食い入るように見ている子どもたち。それから、タンポポの手遊びを挟んで『まどみちおの詩 タンポポ』『ねえ、どれがいい?』などを子どもたちに問いかけしながら読んでいきます。思い思いの答えが返ってきて、大盛り上がりです。みんなで場を共有し、絵本を楽しみました。

この日の全体の来場者は、子ども23人、大人16人でした。足を運んでくださった皆さんが「えほんのひろば」で思い思いに心ゆくまで絵本と過ごすことができたのではないのでしょうか。

今年度も無事に開催できたことをかかわってくださった皆様に感謝し、今後もこのようなイベントが継続できるよう工夫していけたらと思いました。(山田)



えほんのひろば 工作コーナーの様子



## REPORT 2024年度 図書館友の会けやき

### 総会・図書館交流会

2024年6月21日

#### 図書館友の会けやき総会

今回で26回目となる総会は、大道左京図書館館長と木俣左京区社会福祉協議会事務局長にお越しいただき、けやき会員11名が参加して行われました。まず、今年4月に左京図書館に来られた大道館長が、ご自身の司書としてのキャリアを振り返りながら、コンピュータの導入で、利用者にも図書館で働く人にも便利になった現在の図書館が、本と人をつなぐ場所としての役割を果たしていけるよう、これからも努力していきたいと挨拶されました。

続いて木俣事務局長が、区社協は支援を必要とする人の「居場所づくり」を仕事としているが、図書館は、利用者が自ら選択し、そこを「居場所」とすることができる貴重な場である。そして、その場所に色をつけるのがボランティアの活動だと考えるとエールを送っていただきました。

2023年度活動報告、2024年度活動方針案については会計報告、予算案とともに、出席者の拍手をもって承認されました。

#### ぱっちり、朝ごはん

阿川佐和子ほか著 河出文庫 2023年

みなさま、朝ごはんは食べる派ですか? 35名の作家による朝食エッセイ。旅先の朝食の楽しみに共感し、晚餐ならぬ朝食(ちようさん)になるほどと思いつつ準備のために早起きして実行

する自信はない。卵料理の話が何度と出てくるが卵が高級品であった時代を感じる。「明日の朝食は何にする?」と考えながら眠りについたらよい夢が見られそう。様々な朝食のスタイルに出合えるので気になる朝食からご覧ください。

(左京図書館 岡部)

最後に、永井代表が、けやきの活動を次の世代へ引き継いでいきたい、また市の財政がひっ迫している中でも、図書館の充実を粘り強く求めていきたいと述べ、閉会しました。

## 図書館交流会

総会に続いて行われた図書館交流会には、大道左京図書館館長と森川副館長、けやき会員が参加しました。

まず、左京図書館の2023年度の活動状況について、大道館長から説明がありました。

### ◇2023年度左京図書館の利用状況

入館者数 20万8000人（前年比2.6%増）

地域館の中では3番目に多く、全体では7番目

貸出冊数 51万3000冊（〃 0.6%増）

地域館の中では1番多く、全体では3番目

### ◇2024年度左京図書館職員体制

職員8名、臨時職員11名、ボランティア6名

昨年度の新しい取り組みとしては、秋と冬の読書会、読書週間のリーディングトラッカー（読書補助具、定規のような形状のもの）の配布、左京区コーナーの新設（京都コーナーの一角）のほか、絵本コーナーのソファなど、備品を購入したと報告がありました。

つぎに、けやき会員から図書館へ質問や要望などを行いました。

地域の小・中学校に対し、出張ブックトークや小学校からの見学の受け入れなど、図書館から積極的に働きかけをしてほしい、という要望に対しては、学校の希望があればしていきたいと回答がありました。

赤ちゃん絵本ふれあいタイムの参加者が少ないが、乳幼児の利用自体が減っているのか？という質問については、

波はあるが、利用者数は変わらないと思う。児童館では水曜日以外の平日午前中は、ほぼ毎日乳幼児向けの催しがあり、それが関係しているのかもしれないということでした。

図書館全体に対しては、高齢者や障がい者に対するサービスの充実と既存のサービスの周知を図ってほしい、街中のブックポストを増やしてほしいという要望がありました。

永井代表が、左京図書館は貸出冊数が多いわりに、入館者数が少ないことを指摘し、居心地がよく、長く滞在できるような図書館を目指してほしいと伝え、会を締めくくりました。（澤田）

## けやきの活動記録

2024年5月～9月

- 6/21 2024年度図書館友の会けやき総会、図書館交流会 開催
- 7/11, 12, 18 左京図書館館内取材
- 8/5 左京図書館へ特集記事のインタビュー
- 9/18 ニュースレター72号 印刷・発送

<事務局会議> <図書館とのミーティング>（主に第1金曜日）  
6/7, 7/5, 9/6

<図書館おたのしみ会に協力>（第4土曜日）  
5/25, 6/22, 7/27, 8/24

<絵本学習会>（第4金曜日、3,7月は第2金曜日、8月は休み）  
5/24, 6/28, 7/12

<「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター活動>  
（現在は毎月第3木曜日 10:30～12:00）  
5/16, 6/20, 7/18, 8/15

## 「この人なら！」と秒で信頼される声と話し方

下間都代子著 日本実業出版社 2024年

阪急電車や京阪電車に乗った時、電車内や駅のアナウンスで聞こえてくる、「あの声」の人。それがこの本の著者、ナレーターの下間都代子さんです。この本には、声のプロが培ってきた

声と話し方で人の信頼を得る方法が沢山載っています。ちょっとした抑揚を付けるだけで、驚くほど自分の印象が変わりますし、日常生活や仕事において、円滑な人間関係を築くのにも役立ちます。人へのお願い事もスムーズに聞いてもらえるようになるかも?!（会員 中原）

## 図書館友の会 けやき の仲間になりませんか

知りたい 調べたい 本の世界を楽しみたい

そんな私たちの望みをかなえ 一人一人の世界を豊かにしてくれる場所

それが私たちの願う図書館です

京都市左京図書館が市民みんなの図書館としていきいきとあり続けるために、私たち市民利用者は何ができるのか考え、活動したいと1999年に「けやき」を立ち上げました。図書館のスタッフとともに、左京図書館はじめ京都市図書館を支え、育てていきませんか。

次のような活動をおこなっています

### であいの森

左京図書館のおたのしみ会（毎月第4土曜日 11:00）に協力。  
絵本を読んだり、ブックトーク・人形劇やおはなしも。

### 「赤ちゃん絵本ふれあいタイム」サポーター

毎週木曜日 10:30～12:00、左京図書館絵本コーナーで絵本探しのお手伝いをしたり、絵本を読んだりしています。

### 誰もが利用できる図書館を考える

図書館の現状を調べ学び、図書館に提案をしています。

### ニュースレター編集部

友の会のニュースレター「けやき」を作成し、図書館と利用者を結ぶけやきの活動の情報を発信しています。

### 事務局

けやきの活動の企画提案。図書館行事に企画・協力。各グループ間や左京図書館との連絡調整を行っています。

### 絵本学習会

毎月第4金曜日 10:00～。取り上げた絵本をみんなで読み合い語り合う楽しい学習会です。

### 講演会・学習会

主催または図書館との共催で年に数回、地元の講師を中心に様々な興味深い講演会・学習会を行っています。

◆入会希望の方は年会費500円をそえ、下記郵便振込口座にお申し込み下さい。活動費の寄付も歓迎。

郵便振込口座 口座番号 00920-8-156914 番  
口座名称 図書館友の会 けやき

◆入会・活動への参加などお問い合わせは下記の事務局へメールで。

◆図書館友の会けやきホームページをぜひご覧ください。  
ニュースレターのバックナンバーも掲載しています。

## けやき情報版

### 左京図書館「絵本入門講座・読み聞かせ交流会」

9月30日（月） 13時～15時

講演「子どもとおとなを惹きつけるものがたり絵本」  
講師：中川あゆみさん

10月11日（金） 10時～12時

講座「やってみよう読み聞かせ」  
講師：左京図書館司書さん  
科学絵本・科学読み物ブックトーク  
「土には不思議がいっぱい」  
講師：島崎真紀子さん

左京合同福祉センター3階（左京図書館上階）大会議室にて  
事前申し込みは不要  
子どもに本の読み聞かせをしてみたい方はもちろん、絵本や児童書に興味がある方はぜひご参加ください。

### 赤い羽根共同募金



ニュースレターは赤い羽根共同募金からの助成を受け作成しています。

## 編集後記

夏休みに入っすぐの日曜日の午後、図書館の児童書コーナーは、自由研究の資料やおもしろそうな読み物を探す子どもたちで大賑わい。平日昼間の静けさはどこへ？活気と静寂、どちらも魅力ある図書館には欠かせないものだと思います。（澤田）

今号の特集や報告にもあるように、公共図書館は誰もが使える知の拠点であり、居場所でもあります。7月には暫くぶりに近隣小学校からの図書館見学会が催された由。古い話で恐縮ながら、2000年、けやきは当時恒例だった小学3年生の左京図書館見学会を取材。子どもたちが図書館の使い方を教わり、館長さんらに質問をしている様子や、その年は左京区南部の10校から訪れていることを報告しています。子どもたちが等しく図書館に親しむ大切な機会、また増えてほしいと願います。（島崎）

◇けやき 第72号 2024年9月18日

◇制作 図書館友の会 けやき ニュースレター編集部  
題字：吉政 富美子 デザイン：伊藤 理恵子

◇発行 図書館友の会 けやき

HP : <http://totomo-keyaki.com>

Mail : [info@totomo-keyaki.com](mailto:info@totomo-keyaki.com)